

境川水系河川整備計画（原案）への関係住民からの意見と対応

番号	意見提案	基本的な考え方
1	<p>川沿いにトイレが近くにないので、設置してくれると嬉しい。</p>	<p>トイレについては、河川の利用者のニーズが大きいことを認識していますが、保守点検、衛生管理、防犯等の問題が大きく整備が難しいのが現状です。今後、関係機関と連携し検討していきます。</p>
2	<p>今後新設する親水護岸の広場に河川沿いの方々の休憩場所のために、緑蔭となるような植樹をしてほしい。また、川遊びをした後の手洗い等のために、手押しポンプを設置してほしい。</p>	<p>河川沿いの緑化等については、P25 に書いてあるとおり、検討していきます。手押しポンプについては、設置場所や水源等も考慮する必要があると思いますが、今後関係機関と、その可能性について検討していきます。</p>
3	<p>P20 に書いてある、動植物の調査だが、もっと詳細な調査が必要なのではないのか。</p> <p>鶴金橋付近の金森遊水池に、生物のための常時水が溜める整備は出来ないだろうか。</p> <p>西田橋右岸の緑地にある旧河道は、貴重な動植物がいます。この旧河道に水を引き込んで、生物の生息環境を向上させてほしい。</p>	<p>動植物調査については、東京都や公表されている関係機関の調査結果に基づき、適切にとりまとめています。</p> <p>金森遊水池の整備は完了していますが、ご意見を踏まえ、その可能性について検討していきます。</p> <p>旧河道については、貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>
4	<p>P20 に書いてある、動植物の調査だが、計画策定に先立って、生物調査を実施したのか。</p> <p>東京都管理区間での古淵鵜野森公園付近では狭さく部があるため、親水施設に予想以上の洗掘が起こっている。一日でも早く下流の河川整備が進み、時間雨量 50 ミリの断面に整備できるように切望しています。</p> <p>西田橋右岸付近の旧河川敷の河畔林には、貴重種である生物が数多く生息している。この貴重な河畔林(河川敷)を、河川環境の一部として保全し、河畔林内に残る旧河道に水を引き込むなど自然復元的な整備をお願いしたい。</p>	<p>動植物調査については、東京都や公表されている関係機関の調査結果に基づき、適切にとりまとめています。本文への掲載の際には全ての生物を掲載しておりません。ご理解の方、お願いします。</p> <p>ご意見の通り、狭窄部の解消が早期に実施できるように整備を進めて行きます。</p> <p>旧河川敷については、貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>

番号	意見提案	基本的な考え方
5	<p>毎年の台風のたびに境川の水害発生におびえています。早急に河道、洪水調節施設の整備をしてほしい。</p>	<p>東京都管理区間はこれまで時間雨量 50 ミリに対応した護岸整備をほぼ完了しておりますが、下流の神奈川県管理区間の整備が進んでいないため、川底を掘り下げることが出来ず、時間雨量 30 ミリ程度の能力に留まっています。</p>
6	<p>下流の整備が進まない中、中流である東京都区間だけ治水能力をアップしても、意味がないと思う。また、下流の整備が完成しない間だけ、調節池が必要なのではないかと感じている。下流のために、東京都の土地に調節池を設置してほしくない。</p>	<p>このため、下流の県管理区間の河道整備が時間を要することを考慮し、新たな整備水準の時間雨量概ね 65 ミリに対応した調節池を先行して整備することにより、その分、調節池下流の安全度が高まるうえ、調節池の能力に合わせて、調節池の上流側の河川を掘り下げることが可能となり、早期に治水安全度を向上させることができます。</p>
7	<p>下流の整備をまず優先すべきであり、東京都区間の整備の検討は、下流の整備後に行うべきだと思う。下流のために、東京都の土地にお金をかけて、調節池を設置してほしくない。</p>	<p>河道整備に先行して設置する調節池は、新たな整備水準の時間雨量概ね 65 ミリに対応するために必要なものであり、調節池を先行整備しても将来無駄な施設にはなりません。</p>
8	<p>下流の整備が進まないために、東京都の土地に調節池を設置してほしくない。調節池をつくることで、カワセミが犠牲になってしまう。まずは、下流の整備に注力してほしい。</p>	<p>また、調節池の整備は、生態系にも十分配慮して整備を行います。</p> <p>なお、神奈川県の実績については、東京都からも整備促進について、これまでも働きかけを行っており、今後も継続的に働きかけを行います。</p>